

2024年度こうべエコちゃれゼミ開催の様子[第1～2回]

第1回 アジュール舞子の海辺の生き物観察会 アメフラシってかわいい！ ～舞子の海にいるたくさんの生きものにふれてみよう～

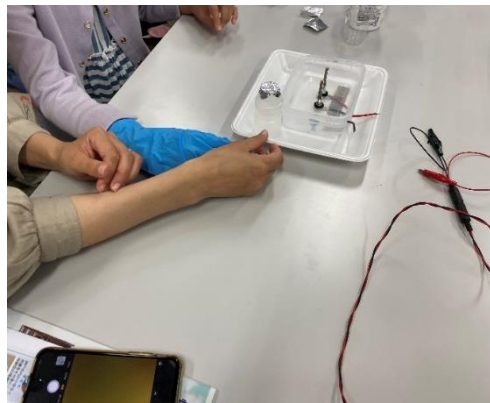
- 日時 2024年6月22日(土)9時30分～11時30分
- 場所 アジュール舞子<垂水区>
- 企画運営 (一社)アースパルKOBÉ
- 講師 みなとやま水族館 館長 岩村 文雄さん
- 協力 旧みなとやま水族館ボランティア



- ・採集や観察を通じて、海辺の生きものの生態(外観・特徴・動き)を知ったり、直接触れたりすることで身近な海辺に多様な生きものが生きていることに気づきそれぞれの命がいきる環境を守ることの大切さに気付いてもらう
- ・生きものを大切にする心を育むとともに、豊かな海を守り育てていくために、身の回りのことから、自然や環境にやさしい行動を始めてもらうキッカケに
- ・神戸の豊かな自然を愛し、神戸を愛する気持ちを育んでいきたい
- ・開始前や採取中にゴミ拾いも並行して行ってもらい、「海ごみ:プラスチックごみ」についても考える場に

第2回 太陽光で水素を作ってみよう

- 日時 2024年6月29日(土)10時～12時、13時～15時
- 場所 KIITO<中央区>
- 企画運営 (一社)アースパルKOBÉ
- 講師 NPO法人創エネ神戸

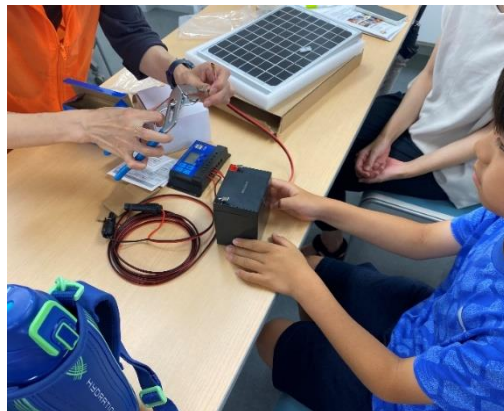


- ・今、地球で起こっている気候変動問題を知ってもらう
- ・解決策として、次世代のクリーンエネルギー「水素」について学んでもらう
- ・燃料電池車の仕組みを知る、水素ミニカーで実際に遊んでみる
- ・燃料電池車の実物を見て、水素エネルギーが実現する世界、未来の可能性を感じてもらう
- ・このなかから、暮らしの中のエネルギー使用について見直すきっかけに

2024年度こうべエコちゃれゼミ開催の様子[第3～4回]

第3回 ベランダ発電で、ゲーム機やスマホの充電をしてみよう！

- 日時 2024年7月7日(日)10時～14時
- 場所 ふたば学舎<長田区>
- 企画運営 (一社)アースパルKOBÉ
- 講師 (一社)アースパルKOBÉ



- ・地球で起こっている気候変動問題を知る
- ・解決策として、次世代のクリーンエネルギー「太陽光」について学ぶ
- ・手回し発電で、発電の負荷が大きいことを体感
- ・太陽光パネルと5Ahの容量バッテリーを充電する仕掛けを作る
- ・暮らしの中のエネルギー使用抑制の大切さに気づききっかけづくり

第4回 チョウのりんぷん転写で絵はがき作り

- 日時 2024年7月15日(月・祝)10時～12時、13時～15時
- 場所 ふたば学舎<長田区>
- 企画運営 (一社)アースパルKOBÉ
- 講師 NPO法人六甲山の自然を学ぼう会(協賛:㈱神戸製鋼所)



- ・SDGs15番目の「陸の豊かさを守ろう」という目標に関連し、家や学校のまわりに暮らす生きものを身近に知ってもらう
- ・特にチョウは身近な昆虫であり、その生態を学び(固有のチョウが好む植生の保全など)、自然との共生、生物多様性保全の重要性に気づききっかけに

2024年度こうべエコちゃれゼミ開催の様子[第5～6回]

第5回 虫取りって楽しいね！こんなにたくさんの虫がいる！

～町のなかの公園にたくさんの夏の虫たち。探して、捕まえて、触れてみよう～

- 日時 2024年7月27日(土)9時30分～11時30分
- 場所 西神中央公園<西区>
- 企画運営 (一社)アースパルKOBE
- 講師 山本勝也さん(日本甲虫学会) 高畑正さん(よこお自然塾)
- 協力 神戸親和女子大学ユネスコクラブ



- ・昆虫の観察、採集を通して、自然の中で生きる生ものの営みやその環境、多様な生きものの存在を学ぶ
- ・小さな生きものも私たちと同じように大事な命があり、小さな昆虫と、同じ自然とつながっていることを、体験する。
- ・生きものを大切にする心を育むとともに、身の回りの自然を大切に、豊かな自然を守る為に、家庭で出来ることに気づいていただき、実践へのきっかけに
- ・外来種について知り、生態系を守ることに意識付けのきっかけに
- ・豊かな自然が残る神戸市の魅力を感じ取り、地域への愛着も育む

第6回 澄んだ川と海が会う場所だから会える水辺の生きもの ～汽水域だから会えるいろんな生きものに触れてみよう～

- 日時 2024年8月3日(土)9時30分～11時30分
- 場所 住吉川河口 汽水域<東灘区>
- 企画運営 (一社)アースパルKOBE
- 講師 兵庫・水辺ネットワーク、西宮市貝類館



- ・都市でありながら山、海、川の自然に恵まれる神戸にあって川上～川下まで自然が残されている住吉川の魅力を知る。
- ・潮の干満で海水(塩水)と淡水が入り混じる汽水域の多様な生きものに触れ、神戸の自然の多様性、生きものの多様性、に気づき、環境を守り・育てる行動を起こすきっかけに
- ・豊かな自然環境を有する神戸への愛情を育てる

2024年度こうべエコちゃれゼミ開催の様子[第7～8回]

第7回 リサイクル工場見学とテレビ解体体験

- 日時 2024年8月7日(水)10時～12時、13時～15時
- 場所 パナソニックエコテクノロジーセンター株式会社<加東市>
- 企画運営 (一社)アースパルKOBÉ
- 講師 パナソニックエコテクノロジーセンターのみなさん



- ・リサイクル工場の見学を通して、リサイクルの具体的作業を知る
- ・実際にテレビを解体する体験をして、どんな部品がリサイクルされるのか知る
- ・持続可能な世界にするために、循環型社会を実現するリサイクルの大切さに気付いてもらう
- ・家電リサイクル法の概要を理解し、正しいリサイクルにつなげる

第8回 コットンボールで糸を紡いで、作品をつくってみよう

- 日時 2024年8月17日(土)10時～15時
- 場所 KIITO<中央区>
- 企画運営 (一社)アースパルKOBÉ
- 講師 大地のぬくもりコットンボール銀行



- ・コットン栽培と自然についても学び、多様性や自然に親しむ
- ・糸をつむいで、ミニ織物に挑戦し、伝統工芸の継承の大切さを体験を通じて気付く
- ・「風が吹けば桶屋が儲かる」ということわざにも通じる"世界のつながり"を感じてSDGsを身近に感じてもらう
- ・消費者の行動で社会を変え、環境的にも効果のあることを講座、体験を通じて学ぶ

2024年度こうべエコちゃれゼミ開催の様子[第9～10回]

第9回 エコなクッキング

～地球にやさしいお料理方法と材料選びで、みんな健康に～

- 日時 2024年10月5日(土)10時～12時30分、13時30分～16時
- 場所 ふたば学舎<長田区>
- 企画運営 (一社)アースパルKOBÉ
- 講師 黒谷静佳さん、(エコ遊悠、アースパルKOBÉ)



- ・環境問題を毎日の食事から考える
- ・エネルギー、フードロスなど環境を考えながら料理する事を体験する
- ・調理やフードマイレージを学び、エネルギー使用と暮らしと地球温暖化が深く関わりがあることに気づききっかけに
- ・親子で楽しみながら、美味しいクッキング体験を通じて、行動変容につなげる。

第10回 魔法の布、ふろしきでいろんなものをつつんじゃえ！～くり返し使えて、エコで便利なふろしき。包み方を教えてもらおう！オリジナル風呂敷を作って持って帰れます～

- 日時 2024年10月26日(土)10時～12時、13時～15時
- 場所 KIITO<中央区>
- 企画運営 (一社)アースパルKOBÉ
- 講師 一般社団法人 ふろしき研究会



- ・身近なプラスチックで、便利なため多用してきたレジ袋の環境への影響を知る
- ・解決策として、エコバックだけではなく、日本伝統のふろしきというものがあることを再認識する
- ・ふろしきのいろいろなつつみ方(使い方)を実際に結んで学ぶ
- ・自分のふろしきを作ること、愛着を持ってもらい、繰り返し使用してもらう
- ・暮らしの中のプラスチック使用について見直すきっかけに

2024年度こうべエコちゃれゼミ開催の様子[第11～12回]

第11回 きれいな砂浜にも。ほら、あちらこちらにプラスチックが！ ～マクロプラスチック問題を知り、プラごみを使って素敵な作品をつくろう～

- 日時 2024年10月27日(日)10時～12時30分、13時30分～16時
- 場所 須磨海岸<須磨区>
- 企画運営 (一社)アースパルKOBE
- 講師 原田禎夫さん(同志社大学経済学部准教授)
水野哲夫さん(京都芸術大学名誉教授)



- ・海ごみ(マイクロプラスチック)問題にフォーカスし、海ごみの発生から海洋生物、人への影響を学ぶ
- ・ごみの発生を抑え、人にも生きものにも優しい環境をつくることの大切さに気付きを与え、循環型社会に向けた行動変容につなげる
- ・海ごみについて学んだあと、砂浜に出て、プラごみを採取・観察し、ごみを減らす方法を考え話し合う
- ・海ごみでプチアート作品を作り、講座で学んだことを思い出すきっかけに

第12回 里山ぐらしとお正月を体験してみよう！～自分で作ったしめ縄で新年を迎えよう！竹をつかったものづくり体験もできるよ～

- 日時 2024年11月30日(土)10時～14時30分
- 場所 あいな里山公園<北区>
- 企画運営 (一社)アースパルKOBE
- 講師 山本 茂さん(環境ボランティアわかば会)、わかば会
あいな竹ぐる一ふ
余部 衛さん(県立やしろの森公園)



- ・竹林の現状を知り、竹林だけではなく(森林・里山)保全の大切さに気付いてもらう
- ・産物である竹を使って、使える道具工作をしたり、わらの利活用(アップサイクル)を学ぶ「しめ縄づくり」を体験する。
- ・里山のぐらしと日本の文化(正月)を学び、人と自然の関わりを理解する。
- ・素材と触れ合うことで、自然との共生していた生活に思いをはせ、私たちの暮らしを見直すとともに、自然を守ることの大切さに気付いてもらう
- ・お正月の意味や文化継承、持続可能な農業について考えるきっかけに

2024年度こうべエコちゃれゼミ開催の様子[第13～14回]

第13回 昨年の冬は雪が少なくてスキー場は困ったんだって！！ ～天気予報づくりの裏側を見て、地球温暖化について考えてみよう～

- 日時 2025年1月18日(土) 10時～12時30分、13時30分～16時
- 場所 神戸防災合同庁舎内 神戸地方気象台<中央区>
- 企画運営 (一社)アースパルKOBÉ
- 講師 神戸地方気象台



- ・天気予報ができるまでの流れを知り、何が(風、湿度、など)天気に影響するのかに気付く。
- ・気象情報に興味を持ってもらうことで、異常気象のどこが異常なのかを知るキッカケに
- ・異常気象になる環境の変化と、その変化をもたらす原因に気付く
- ・低炭素など環境負荷の低い暮らしをしていくことの大切さに気付く、行動変容につなげる
- ・気象への関心を継続して持ってもらうために、簡易雨量計の制作と観察するキッカケを

第14回 きれいなソーラーランタンを作って、地球のことも考えてみよう

- 日時 2025年2月1日(土)10時～12時、13時～15時
- 場所 KIITO<中央区>
- 企画運営 (一社)アースパルKOBÉ
- 講師 (一社)アースパルKOBÉ



- ・今、地球で起こっている気候変動問題を知ってもらう
- ・解決策としての、次世代のクリーンエネルギー「太陽光」について学んでもらう
- ・太陽電池を使ってLEDを転倒させるソーラーランタンを作って、太陽光発電の原始的仕組みを知る
- ・このなかから、暮らしの中のエネルギー使用について見直すきっかけに

第15回 太陽の光が奏でるメロディとSDGs

-
- The image shows three hand-made model trains on a white table. The first train, on the left, is a yellow and blue locomotive with a battery and motor attached to its top. The second train, in the center, is a green and white train with a paper bag body. The third train, on the right, is a white train with blue stripes. A paper bag with the text 'A 100 YEARS OLD' is also visible in the background.



- ## 第16回 「食が地球を救う？」～フードロスとフェアトレード～

- [illegible]



- ・食品ロスの問題を知ってもらう
- ・子ども達に自分自身で取り組む課題を決めさせ能動的に楽しく学ぶきっかけを作る
- ・”食“に秘められた可能性・ワクワク・おもしろさを引き出す

2024年度こうべエコちゃれゼミ開催の様子[第17、CC講座]

第17回 おうちでもカーボンニュートラル2050

- 日時 2025年2月24日(月・祝)10時～12時、13時～15時
- 場所 KIITO<中央区>
- 企画運営 (一社)アースパルKOBÉ
- 講師 (一社)アースパルKOBÉ



- ・今、地球で起こっている気候変動問題を知ってもらう
- ・家庭の中のどんなところから、どれだけ二酸化炭素が出ているかに気付いてもらう
- ・二酸化炭素を減らすことと積極的にマイナスにする方法を家族で考えてもらい日々の生活からの二酸化炭素排出を減らす意識付けをしたい
- ・暮らしの中のエネルギー使用抑制の大切さ、持続可能な社会構築の大切さに気づいてもらうきっかけを

CC講座 クリーンセンター見学と環境学習講座

- 日時・場所
東クリーンセンター: 2024年8月23日(金)、9月16日(月・祝)
港島クリーンセンター: 2024年7月25日(木)、8月22日(木)
西クリーンセンター: 2024年8月28日(水)、11月4日(月・祝)
- 講師 各クリーンセンターの職員、(一社)Ondo



- ・神戸市に3か所あるクリーンセンターでの施設見学
- ・見学後、海洋プラスチックごみのことについて考え、実際にプラスチックに触れて工作をする